

「対話」をテーマに、私たちにヒントをくれる

ちいさな賢者たちの日常を覗いた世界とは



とある保育園で新たな取り組みとしてスタート！  
懸命に想いを言葉にする子どもたち

映画上映会 ドキュメンタリー映画

# 子どもかいぎ

(2022年製作/88分/日本)

2025年5月28日(水) ※開場は上映30分前より ①10:30 上映 ②14:30 上映

入場料 全席指定 前売り 700円/当日 1,000円 和光大学ポプリホール鶴川 B2Fホール

※3才以上からご入場いただけます(ひさ上1名無料 ただし、お席が必要な場合は有料) ※88分上映 途中休憩はありません

チケット発売日 3月25日(火)

※発売初日は8:30~ インターネットまたは電話予約のみ(初日の電話予約は座席指定不可)

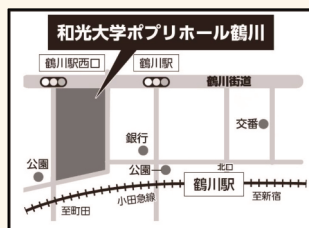
\*インターネット <https://www.m-shimin-hall.jp/tsurukawa/event/>

\*電話予約 町田市民ホール TEL042-728-4300

\*窓口予約 町田市民ホール1階事務所

\*窓口予約 和光大学ポプリホール鶴川1階総合案内

Webでお申込



町田市文化芸術振興事業





正解のない現代社会で、人とのつながりや対話が  
一層重要になっている今、子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちの目線に立って世界を見ることが、  
実は社会が抱える様々な課題を解決するヒントになるのではないか——

そんな思いから本作が誕生しました！

子どもたちから繰り広げられる**奇想天外な発想**と、まっすぐな言葉には、思わず笑い、時にハッとさせられます。

舞台となるのは、多くの子どもたちが社会生活の第一歩を踏み出す場所、保育園。

いつも全力で、まっすぐな子どもたちは、そこで何を考え、**無限の可能性**をどのように伸ばしていくのか——。

様々なテーマで、輪になって話し合う〈こどもかいぎ〉の中で、自分の想いを一生懸命に言葉にする子どもたち。

「こたえない」人生をテーマに、時には喧嘩をしながら、「対話」の中から他者への配慮や優しさを学んでいきます。

未来ある**小さな賢者たち**が、私たち大人に**コミュニケーション力の原点**を気づかせてくれる作品が出来上がりました！

ナレーションは、人と人を繋ぐ言葉の魔術師**糸井重里**さん。包み込むような優しい声が本作の魅力を伝えていきます。

主題歌は**ゴダイゴ**の名曲「**ビューティフル・ネーム**」。子どもたちの輝かしい未来を期待させるエンディングとなっています。

虐待、いじめ、貧困、自殺から子どもを救うのは「対話」かもしれない——。

空の上の  
赤ちゃんが泣いたら  
してるんだよ



累計100万人を動員したドキュメンタリー映画  
『うまれる』シリーズを生み出した、  
監督とメインスタッフが再集結！

企画・監督・撮影：豪田トモ

子どもたちの「かいぎ」は、笑いをこらえきれず、  
カメラが揺れてしまうほど面白かった。でも、  
そんな笑いの中から、「対話」が子どもたちの  
持っている力を伸ばし、いじめや不登校、虐待など、彼らを取り巻く社会  
問題の解決につながることを確信した。正解の見えない社会で、大人が  
残せるものは、こたえではなく、こたえの導き方なのだと教えてもらった。



こどもかいぎ って？

子どもたちが輪になって  
自由に話し合うこと

「どうして生まれてきたんだろう？」

「ケンカしないようにはどうすればいいの？」

1. 子どもたちで行う
2. 様々なテーマについて話し合う
3. 自由になんでも発言してよい 「地球を全部楽しみたい！」
4. お友達の話していることを聞く
5. 先生は進行役としてサポート 「宇宙って誰が作ったの？」
6. 「こたえ」はなくていい 「鼻くそって、きなこの味がするんだよ」

「うちのおばあちゃんね、まだビッチビッチよ」

